

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 久世

コード番号 2708 URL <http://www.kuze.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 久世 健吉

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営サポート本部長

(氏名) 菱岡 俊晴

TEL 03-3987-0018

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	24,511	6.4	△31	—	36	△65.6	38	—
23年3月期第2四半期	23,044	12.7	36	215.5	105	20.9	△15	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 43百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △36百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	9.84	—
23年3月期第2四半期	△3.97	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,330	3,901	25.5
23年3月期	13,856	3,904	28.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,901百万円 23年3月期 3,904百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	12.00	12.00
24年3月期	—	0.00			
24年3月期(予想)			—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	0.5	300	30.1	360	5.2	100	24.0	25.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
- ② ①以外の会計方針の変更 ： 無
- ③ 会計上の見積りの変更 ： 無
- ④ 修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年3月期2Q	3,882,500 株	23年3月期	3,882,500 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,478 株	23年3月期	3,478 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年3月期2Q	3,879,022 株	23年3月期2Q	3,879,070 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、平成23年12月1日（木）に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料は、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 追加情報	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災による経済活動の大幅な落ち込みや原子力発電所事故による電力使用制限の長期化等に加えて、さらに急激な円高株安等、企業を取り巻く経営環境や雇用状況、それに伴う個人消費につきましては依然と厳しい状況で推移しました。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましても、全般的に消費者の節約志向、低価格志向は続き、一層厳しさを増しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は245億11百万円と前年同四半期と比べ14億66百万円（6.4%）の増収、営業損失は31百万円と前年同四半期に比べ68百万円の減益、経常利益は36百万円と前年同四半期に比べ68百万円（△65.6%）の減益、四半期純利益38百万円と前年同四半期に比べ53百万円の増益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 食材卸売事業

当セグメントにおきましては、引き続き首都圏エリアでの積極的な営業強化を進め、またトータルコストの削減に繋がる物流効率に努めてまいりました。また生鮮野菜の販売では、業務改善の取り組みによる収益の向上に努めてまいりました。このような結果、売上高は230億59百万円と前年同四半期と比べ13億67百万円（6.3%）の増収、セグメント利益（営業利益）は2億85百万円と前年同四半期と比べ9百万円（3.5%）の増益となりました。

② 食材製造事業

当セグメントにおきましては、引き続き自社ブランド商品の販売強化、ユーザーブランド商品の開発・販売に努め、また継続的な品質向上とコストダウンにも取り組んでまいりました。このような結果、売上高は14億60百万円と前年同四半期と比べ99百万円（7.3%）の増収となりましたが、セグメント利益（営業利益）は43百万円と前年同四半期と比べ35百万円（△44.8%）の減益となりました。

③ 不動産賃貸事業

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は76百万円と前年同四半期と比べ5百万円（7.3%）の増収、セグメント利益（営業利益）は60百万円と前年同四半期と比べ7百万円（13.5%）の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ14億74百万円増加し、153億30百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金が7億96百万円、現金及び預金が3億46百万円、投資その他の資産のその他が2億29百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ14億78百万円増加し、114億29百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が13億97百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ3百万円減少し、39億1百万円となりました。これは主としてその他有価証券評価差額金が5百万円増加し、利益剰余金が8百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は前会計年度末の28.2%から25.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前年同四半期と比較して1億4百万円減少し、30億83百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して2億52百万円減少し、5億28百万円の収入となりました。これは仕入債務の増加額が13億97百万円、売上債権の増加額が7億95百万円、たな卸資産の増加額が1億2百万円であったことが主たる要因であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して2億34百万円減少し、3億4百万円の支出となりました。これは投資有価証券の取得による支出が2億61百万円であったことが主たる要因であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して1億13百万円増加し、1億6百万円の収入となりました。これは長期借入れによる収入が4億40百万円、長期借入金の返済による支出が2億60百万円であったことが主たる要因であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間において、平成23年5月17日に公表いたしました連結業績予想を修正いたしました。詳細は平成23年11月10日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

平成24年3月期の通期連結業績予想につきましては、平成23年5月17日に公表の業績予想からは変更ありません。

なお、連結業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,125,516	3,472,189
受取手形及び売掛金	5,188,080	5,984,105
商品及び製品	1,489,992	1,592,531
原材料及び貯蔵品	158,610	158,890
その他	633,749	709,492
貸倒引当金	△38,428	△44,814
流動資産合計	10,557,521	11,872,395
固定資産		
有形固定資産	1,849,642	1,807,270
無形固定資産	132,831	104,944
投資その他の資産		
その他	1,379,700	1,608,980
貸倒引当金	△63,607	△62,600
投資その他の資産合計	1,316,092	1,546,380
固定資産合計	3,298,566	3,458,596
資産合計	13,856,087	15,330,991
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,900,614	8,297,782
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	421,321	458,322
未払法人税等	136,171	37,764
賞与引当金	152,915	150,250
その他	759,242	844,871
流動負債合計	8,410,264	9,828,991
固定負債		
社債	120,000	100,000
長期借入金	810,847	952,850
退職給付引当金	286,570	139,665
役員退職慰労引当金	184,609	169,276
その他	138,853	238,436
固定負債合計	1,540,880	1,600,227
負債合計	9,951,144	11,429,218
純資産の部		
株主資本		
資本金	302,250	302,250
資本剰余金	291,900	291,900
利益剰余金	3,316,214	3,307,851
自己株式	△1,722	△1,722
株主資本合計	3,908,641	3,900,278
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,698	1,494
その他の包括利益累計額合計	△3,698	1,494
純資産合計	3,904,943	3,901,772
負債純資産合計	13,856,087	15,330,991

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	23,044,772	24,511,688
売上原価	19,128,372	20,532,336
売上総利益	3,916,399	3,979,351
販売費及び一般管理費		
給料	750,866	846,301
賞与引当金繰入額	135,090	134,850
役員退職慰労引当金繰入額	8,000	7,150
運賃	1,877,198	1,879,641
貸倒引当金繰入額	12,086	10,700
その他	1,096,244	1,132,235
販売費及び一般管理費合計	3,879,486	4,010,879
営業利益又は営業損失(△)	36,912	△31,528
営業外収益		
物流業務受託収入	79,212	22,675
協賛金収入	68,449	68,560
その他	56,839	64,452
営業外収益合計	204,501	155,687
営業外費用		
物流業務受託収入原価	80,842	32,867
催事等振替原価	35,124	31,378
その他	20,443	23,836
営業外費用合計	136,410	88,082
経常利益	105,003	36,077
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,875	—
退職給付制度改定益	—	61,018
特別利益合計	1,875	61,018
特別損失		
固定資産除却損	193	6,500
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38,992	—
特別損失合計	39,186	6,500
税金等調整前四半期純利益	67,693	90,595
法人税、住民税及び事業税	103,829	35,859
法人税等調整額	△20,755	16,551
法人税等合計	83,074	52,411
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,381	38,184
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△15,381	38,184

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△15,381	38,184
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21,535	5,192
持分法適用会社に対する持分相当額	—	—
その他の包括利益合計	△21,535	5,192
四半期包括利益	△36,917	43,377
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△36,917	43,377
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	67,693	90,595
減価償却費	96,468	90,149
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	38,992	—
固定資産除却損	193	6,500
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	10,118	5,379
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△17,666	△2,665
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	2,001	△85,886
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,000	△15,333
退職給付制度改定益	—	△61,018
受取利息及び受取配当金	△5,379	△8,305
支払利息	11,326	9,168
売上債権の増減額 (△は増加)	△77,745	△795,047
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△30,722	△102,819
その他の資産の増減額 (△は増加)	△50,241	△59,305
仕入債務の増減額 (△は減少)	836,811	1,397,168
その他の負債の増減額 (△は減少)	17,543	188,261
小計	907,394	656,840
利息及び配当金の受取額	1,713	4,935
利息の支払額	△12,087	△9,532
法人税等の支払額	△115,461	△133,188
法人税等の還付額	—	9,752
営業活動によるキャッシュ・フロー	781,558	528,807
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△15,277	△15,097
有形固定資産の取得による支出	△39,755	△21,894
資産除去債務の履行による支出	—	△1,933
無形固定資産の取得による支出	△730	△800
投資有価証券の取得による支出	△4,776	△261,644
貸付けによる支出	△1,100	△7,944
貸付金の回収による収入	1,332	1,387
その他投資等の取得等による支出	△14,813	△18,076
その他投資等の解約等による収入	5,772	21,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,348	△304,142
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	300,000	440,000
長期借入金の返済による支出	△238,000	△260,996
社債の償還による支出	△20,000	△20,000
リース債務の返済による支出	△2,585	△5,704
配当金の支払額	△46,257	△46,388
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,843	106,910
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	705,366	331,575
現金及び現金同等物の期首残高	2,464,275	2,751,558
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	17,795	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,187,437	3,083,134

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。

(5) 追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

（退職給付引当金）

当社及び一部の国内連結子会社は、確定拠出年金法の施行に伴い、平成23年4月に適格退職年金制度の一部について確定拠出年金制度へ移行し、「退職給付制度間の移行等に関する会計処理」（企業会計基準適用指針第1号）を適用しております。

本移行により、当第2四半期連結累計期間の特別利益として61,018千円を計上しております。

(6) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	21,682,146	1,361,599	1,026	23,044,772
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,937	—	70,197	80,134
計	21,692,083	1,361,599	71,224	23,124,907
セグメント利益	276,211	79,107	53,495	408,814

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利 益	金 額
報告セグメント計	408,814
セグメント間取引消去	6,331
全社費用（注）	△378,232
四半期連結損益計算書の営業利益	36,912

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	23,045,219	1,460,607	5,860	24,511,688
セグメント間の内部売上高 又は振替高	14,258	—	70,557	84,815
計	23,059,478	1,460,607	76,418	24,596,504
セグメント利益	285,808	43,667	60,731	390,206

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	390,206
セグメント間取引消去	5,935
全社費用（注）	△427,669
四半期連結損益計算書の営業損失（△）	△31,528

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

（7）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

該当事項はありません。